

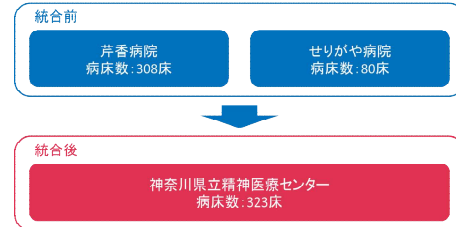
開院レポート：神奈川県立精神医療センター

- 新しい時代の精神科医療に対応するため、統合失調症やうつ病など一般精神科医療を行ってきた「芹香病院」と依存症専門医療を行ってきた「せりがや病院」は、平成26年12月1日に統合し、「神奈川県立精神医療センター」として、新たに生まれかわりました。

また、新センターでは、これまでの2病院の機能に加え、新たな専門領域として、思春期精神科を新設しました。

- 医療情報システムは、チーム医療など、質の高い医療を提供するため、重要な役割を果たしています。
- 当社は平成24年度から新センターの医療情報システムの導入支援業務を担ってきました。

実績は次の表のとおりです。



平成24年度	4月	基本計画の策定	平成25年度	4月	機能要求仕様書	平成26年度	4月	新医療情報システム導入準備
	5月			5月			5月	
	6月			6月			6月	
	7月			7月			7月	
	8月			8月			8月	
	9月			9月			9月	
	10月			10月			10月	
	11月	11月		11月				
	12月	ベンダ機能検討		12月	ベンダ選定		12月	システム検収
	1月	電子カルテにかかる業務運用検討		1月	新医療情報システム導入準備		1月	導入効果測定
	2月			2月			2月	
	3月			3月			3月	

- 当社では、基本計画の策定に始まり、機能要求仕様書の作成、そしてシステムの検収、導入効果測定まで、3年間にわたり各種の業務支援を行ってきました。なお、年度ごとの詳細は次のとおりです。

- 平成24年度はシステム構築の目的や範囲、概算費用などの基本計画を策定しました。

- 平成25年度は機能要求仕様書の検討やベンダーの選定などの支援を行いました。
- 平成26年度には2病院のID統合や、旧オーダーリングシステムから新しい医療情報システムへのデータ移行方法の検討、開発監理などを行い、12月1日に無事開院を迎えることが出来ました。

開院後はシステムの稼働状況を確認しつつ、導入効果測定を行い、今後のシステム改善に向けた課題整理などを行いました。



《神奈川県立精神医療センター・概要》

[基本理念]

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します。

[基本方針]

- 1 神奈川県精神科中核病院として、高度な医療を提供します。
 - ・精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携します。
 - ・依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法の4つの分野で専門的な医療を提供します。
 - ・先進的な医療に関する臨床研究や、神奈川県の医療の将来を担う人材育成に取り組みます。
- 2 患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。
 - ・患者さん参加のもとで治療計画を考え、多職種チームで支援します。
 - ・インフォームド・コンセントを徹底し、患者さんの意思決定を尊重します。
- 3 みんなのちからで、安全な医療に取り組みます。
 - ・積極的な情報公開に努め、透明性の高い安全な医療を提供します。
 - ・患者さんやご家族とともに、安心して医療を受けられる療養環境を築きます。
- 4 地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。
 - ・必要な入院をスムーズに受け入れるとともに、早期退院を目指して計画的な援助を行います。
 - ・関係機関との連携を密にし、在宅の患者さんの地域生活を支援します。
 - ・関係機関と連携し、地域における精神保健活動に協力します。
- 5 県立病院として健全な経営を目指します。
 - ・効率的で効果的な経営のあり方を追求し、自立した病院経営に努力します。

[診療科目]

- ・精神科

[許可病床数]

- ・323床
 - 5A 病棟（救急A） 30床
 - 5B 病棟（救急B） 40床
 - 4A 病棟（高度ケア） 40床
 - 4B 病棟（思春期） 30床
 - 3A 病棟（地域移行支援） 40床
 - 3B 病棟（ストレスケア） 30床
 - 2A 病棟（身体ケア） 35床
 - 2B 病棟（依存症） 45床
 - F 病棟（医療観察法） 33床